

2023 年度日本水文科学会総会報告

2023 年 9 月 5 日（火）： 12:20～13:50, 出島メッセ長崎

定足数：37 名*

*2023 年 8 月 1 日現在における議決権のある会員数（正会員および名誉会員）187 名，内 4 名宛先不明のため有効会員数は 183 名。日本水文科学会会則 第 23 条「総会の定足数は全正会員の 5 分の 1 以上とする」より，総会の定足数は 37 名となります。

委任状数：91 名（内訳：決議権議長委任 50 名，その他 1 名 [小野寺真一氏に委任]，

2022 年度報告：賛成 40 名，反対 0 名，2023 年度計画：賛成 40 名，反対 0 名，役員選挙規定の改正：賛成 40 名，反対 0 名）

出席者数：31 名，総会参加数 122 名以上（定足数 37 名を上回ることから総会は成立）

総会の開催に先立ち総会定足数を満たすことを確認し，谷口会長の挨拶を頂いた。樋口常任委員長を議長として総会を進めることを承認した。

議題：

報告事項

1. 2022 年度事業報告（資料 1）を各種委員会委員長が行い，承認された。
2. 2022 年度会計収支報告（資料 2）を山中会計委員長が行い，承認された。
3. 2022 年度会計監査（資料 3）が 2 名の会計監査委員によって適切になされたことを報告した。

審議事項

4. 2023 年度事業計画（資料 4）を各種委員会委員長が行い，承認された。総会参加者より水文誌ミニ巡検再開について質問があり，利部企画・広報委員長より現段階での検討状況について追加説明がなされた。
5. 2023 年度予算案（資料 5）の説明を山中会計委員長が行い，承認された。
6. 日本水文科学会役員選挙規定の改正（資料 6）について樋口より説明を行い，承認された。

その他

7. 資料 7 より佐藤芳徳会員を名誉会員として推薦する説明が行われた。
8. 2023 年度日本水文科学会各種賞を下記の会員へ授与する報告が齋藤学会賞選考委員長

よりなされた。

(ア) 鈴木啓助会員に功績賞

(イ) 辻村真貴会員に学術賞

(ウ) 堀田裕貴会員に奨励賞（推薦論文：堀田裕貴・田中隆文・小谷亜由美(2022): タンクモデルパラメータ値によるわが国寡雪地域の流域条件と長期流出特性の関係, 日本水文科学会誌, 52(1), 1-22.)

9. 本学会の将来に関する議論について、ワーキンググループがまとめた報告に基づき様々な観点からの意見表出が複数の会員よりなされた。意思決定は2024年度総会で実施予定であるが、その決定方法についてワーキンググループで引き続き議論することとなった。

10. 2024年度学術大会および総会は山梨大学にて2024年10月～11月土日2日間実施予定である旨の報告が中村集会委員長よりなされた。

以上

(文責：樋口)